

京都の自治会・町内会 『困ったときのヒント集』

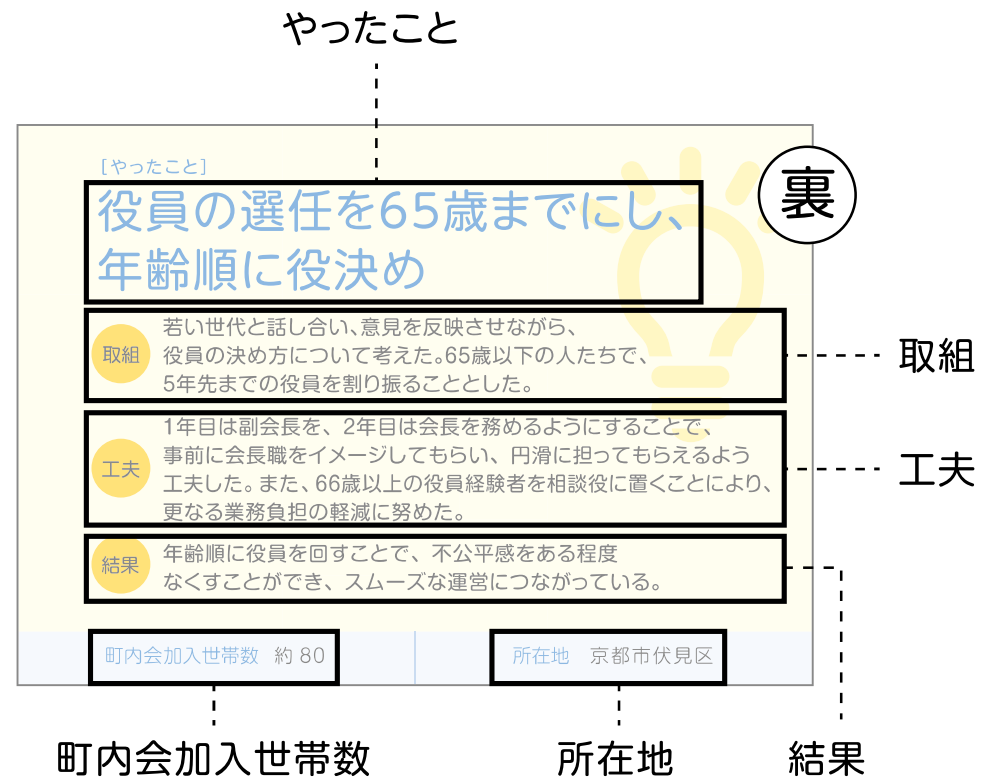
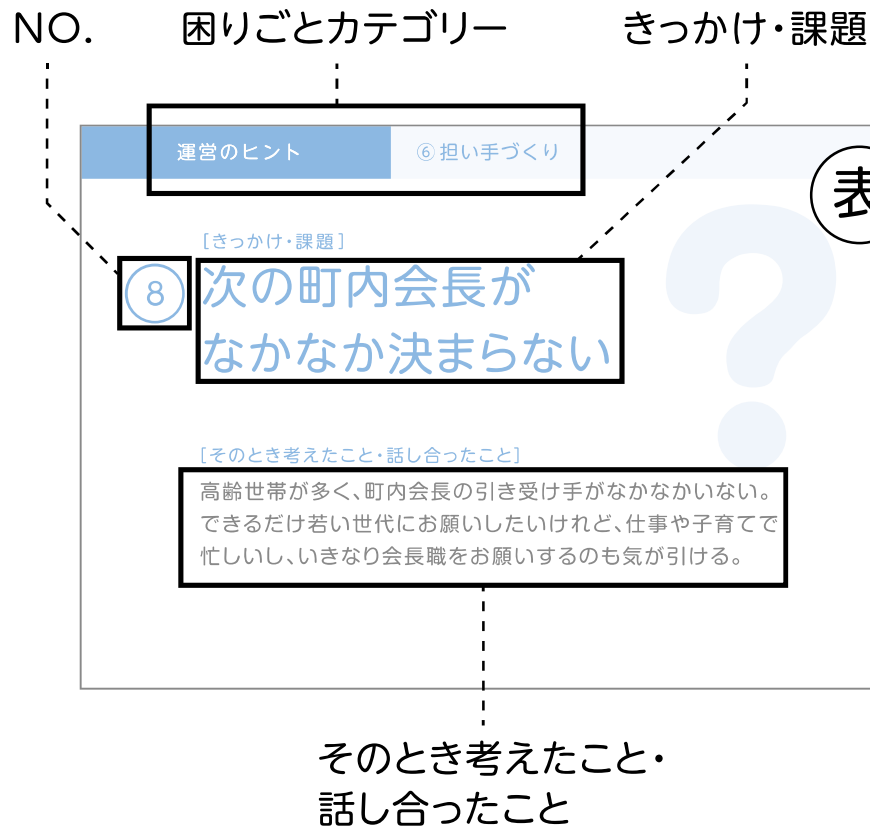


役員の仕事がしんどい、高齢者が多い、行事が大変…
地域コミュニティサポートセンターには、
日々さまざまな自治会・町内会の困りごとが寄せられます。

そんななか、工夫して活動に取り組まれている
自治会・町内会があります。

本書では実際に行われている活動を参考にまとめました。
これからもずっと住みたい町にするための活動のヒントとなり、
今後の活動のお役に立てたら幸いです。

中面の見方



- (1) 運営のヒント
- ① 体制・会員名簿
 - ② 活動内容の見直し
 - ③ 合意形成・話し合い
 - ④ 会費・運営費
 - ⑤ 会長・役員の負担軽減
 - ⑥ 担い手づくり
 - ⑦ 引継ぎ
 - ⑧ 退会防止
 - ⑨ 共同住宅

- (2) コミュニケーションのヒント
- ① 日常的な集まり
 - ② イベントや行事
 - ③ 地蔵盆
 - ④ ツールの活用

- (3) 連携のヒント
- ① NPOとの連携

[きっかけ・課題]

① 昔、町内で火事が起こり、 延焼したことがあった

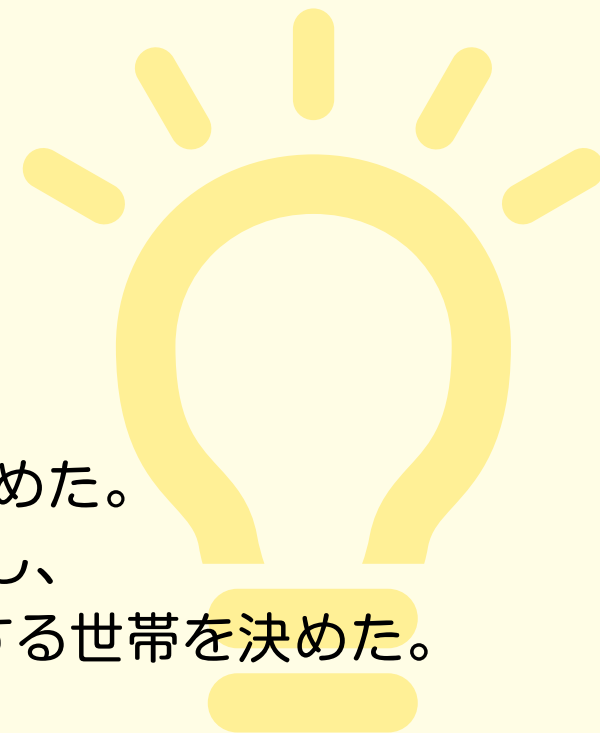
[そのとき考えたこと・話し合ったこと]

防災対策には、日頃の心構えが大切。
近隣町内会の防災訓練を見学に行き、
良い取組を真似してみたらどうだろうか。



[やったこと]

災害時の安否確認の 体制の整備



取組

近隣町内会を見学し、町内会の防災訓練を始めた。
数年来、更新できていなかった町籍簿を更新し、
各組の自主防災部員が災害時に安否確認をする世帯を決めた。

工夫

防災訓練において出欠を確認する時に、町籍簿を更新している。
また、災害時の声かけ訓練も行っている。

結果

防災の取組を強化することで、住民の防災意識が高まり、
加入率は100%になった。防災対策の取組は町内会活動の
必要性を転入者にも伝えやすく、自然と加入してもらえている。
町内会費の使い方も防災活動を優先している。

町内会加入世帯数 約 60

所在地 京都市伏見区

[きっかけ・課題]

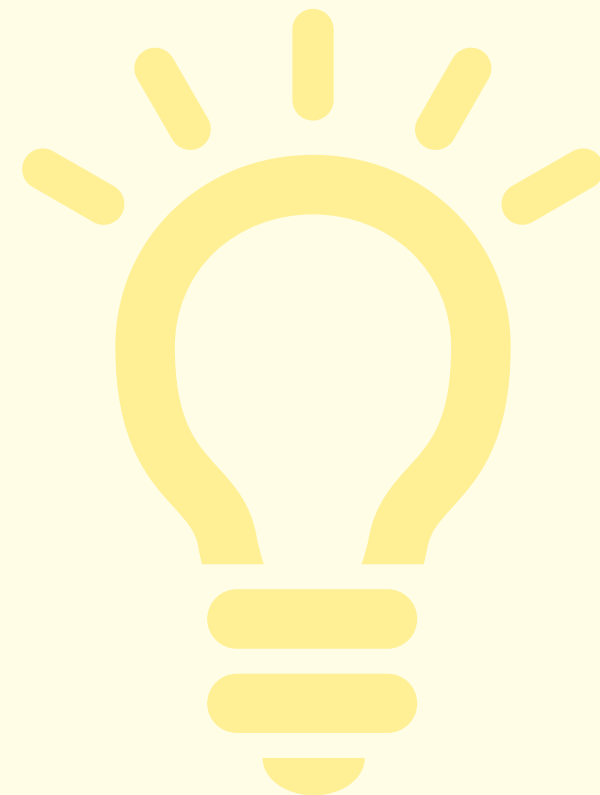
② 子どもが少なくなってきた

[そのとき考えたこと・話し合ったこと]

昔は町内に小学生が20人ほどおり、バスツアー等の大きなイベントも含め、子どもたち向けのイベントを色々実施してきたが、今は小学生が4人しかいない。

[やったこと]

子ども向けイベントの 内容を変更



取組

子ども向けのイベントを
餅つき大会とハロウィンイベントに変更した。

工夫

町内のみんなが楽しめ、参加できるイベントを考えた。

結果

毎年継続してきたからこそ、中学生になっても、
町内に愛着を持って、地域活動に関わり続けてくれている。

町内会加入世帯数 約 40

所在地 京都市上京区

[きっかけ・課題]

③ 町内会だけで 解決できない問題がある

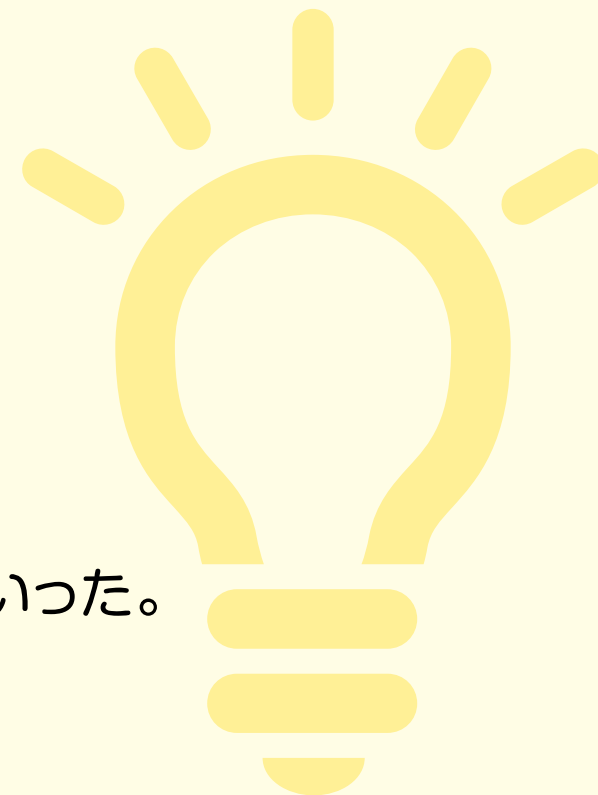
[そのとき考えたこと・話し合ったこと]

隣接する教育機関が避難所となっているが、
正門から入る避難ルートが遠回りなので、
「町内に面している塀に非常口を作ってもらえないだろうか」
という意見が出ていたが、自分たちだけではどうにもならない。



[やったこと]

学区の自主防災会と 自治連合会に相談



取組

自主防災会や自治連合会など、
たくさんの人に相談して、協力者を増やしていった。

工夫

1つの町内会ではなく、学区の要望として声をあげた。

結果

行政、自治連合会、教育機関の3者で
覚書を締結することになり、非常口が設置された。

町内会加入世帯数 約 90

所在地 京都市伏見区

[きっかけ・課題]

④ 町内会がない

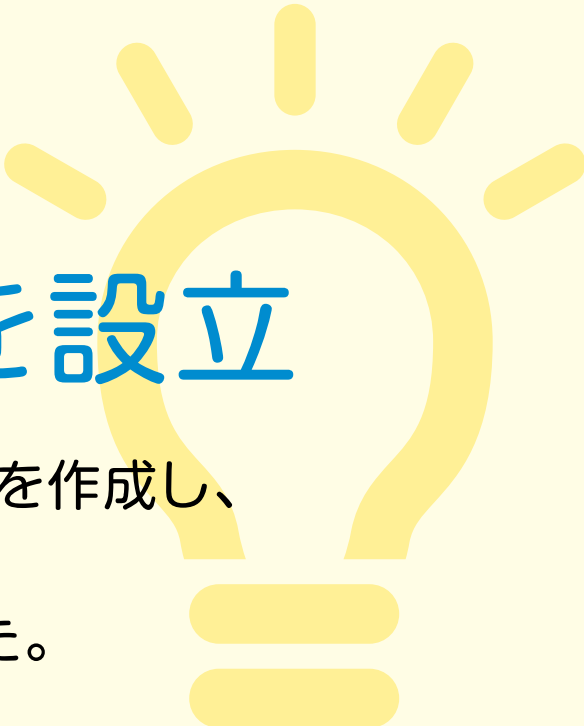
[そのとき考えたこと・話し合ったこと]

町内会設立に向けて話を進めているけれども、
「町内会活動は大変」という理由で、
町内会設立に反対する人もいます。



[やったこと]

防災の視点から設立の メリットを伝え、町内会を設立



取組

町内会の必要性を理解してもらうための資料を作成し、全戸配布した。また、アンケートを実施し、多数の賛成意見を得て、町内会の設立に至った。

工夫

全戸配布した資料は、防災の情報を手に入れやすくなるなどの町内会活動のメリットを伝える内容とした。町内会の運営に当たっては、活動が負担にならないよう最低限の活動から始めることとした。

結果

町内会ができ、消火栓の場所を記した地図作りなど、防災の取組を中心に無理のない範囲で活動を行っている。

町内会加入世帯数 約 120

所在地 京都市左京区

[きっかけ・課題]

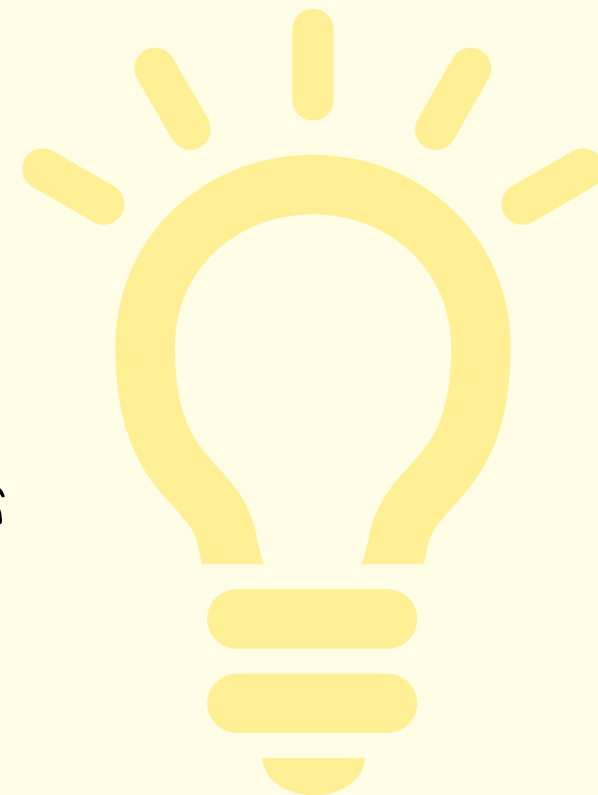
⑤ 町内会費が世帯ごとに異なる

[そのとき考えたこと・話し合ったこと]

古くからある町内会で、世帯に応じて、
町内会費が違っている。新しくマンションが建つことになり、
会費の見直しをした方が良いのでは。

[やったこと]

町内会費を統一



取組

これまで、町内の古いしきたりにより会費が世帯ごとに異なっていたのを見直した。

工夫

総会に諮り、規約を変更し、会員が公平に町内会活動に取り組めるようにした。

結果

会費を統一したことで、不公平感をなくし、マンション住民への加入の呼びかけがしやすくなった。

町内会加入世帯数 約 30

所在地 京都市下京区

[きっかけ・課題]

⑥ 毎年町内会長が 資料を作り直している

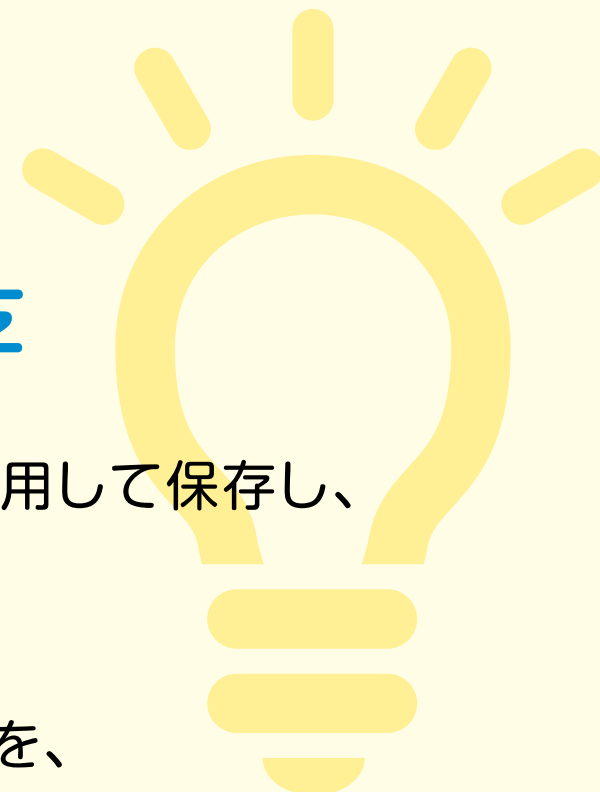
[そのとき考えたこと・話し合ったこと]

案内文などはパソコンで作られているにもかかわらず、データの引継ぎがされていない。前年度のデータがあれば作業の負担が軽くなるのに。



[やったこと]

データ化して クラウドを活用して保存



取組

毎年使う資料は、データ化してクラウド※を活用して保存し、作業の負担を減らした。また、町内会長の年間スケジュール一覧も作成した。

工夫

同時に、年々引き継がれてきた過去の紙資料を、前年度の町内会長と一緒に整理し、引継ぎ資料を最小限に抑えた。

結果

パソコンやメールが得意な町内会長だったので、引継ぎや資料作成が簡単に行えるようになった。

※「クラウド」とは、情報システム(サーバやソフトウェア)を所有するのではなく、「雲(クラウド)」と表現されるインターネット等のネットワークを通じて、情報システムを利用する形態のこと。

町内会加入世帯数 約 30

所在地 京都市上京区

[きっかけ・課題]

⑦ 役員の負担を軽くしたい

[そのとき考えたこと・話し合ったこと]

町内会の役員になると、会議や行事も多くて大変なので活動をスリム化していきたい。でも地蔵盆などで住民が交流することは大切だし、残していきたい。

[やったこと]

地蔵盆実行委員会を立ち上げ、 とにかく声かけ

取組

地蔵盆実行委員会を立ち上げ、これまで町内会の役員が担っていた運営を有志の方々が担うようにした。

工夫

日頃から、とにかく声かけをして、ささいなことでもお願いすることで、転入者や若い方にも少しでも協力してもらえるよう促した。

結果

町内会役員の業務負担が軽減されただけでなく、地蔵盆に協力してくれた多くの方が地域の担い手として、他の取組にも協力してくれるようになった。

町内会加入世帯数 約 110

所在地 京都市左京区

[きっかけ・課題]

⑧ 次の町内会長が なかなか決まらない

[そのとき考えたこと・話し合ったこと]

高齢世帯が多く、町内会長の引き受け手がなかなかいない。
できるだけ若い世代にお願いしたいけれど、仕事や子育てで
忙しいし、いきなり会長職をお願いするのも気が引ける。



[やったこと]

役員を選任を65歳までにし、 年齢順に役決め



取組

若い世代と話し合い、意見を反映させながら、役員決め方について考えた。65歳以下の人たちで、5年先までの役員を割り振ることとした。

工夫

1年目は副会長を、2年目は会長を務めるようにすることで、事前に会長職をイメージしてもらい、円滑に担ってもらえるよう工夫した。また、66歳以上の役員経験者を相談役に置くことにより、更なる業務負担の軽減に努めた。

結果

年齢順に役員を回すことで、不公平感がある程度なくすることができ、スムーズな運営につながっている。

町内会加入世帯数 約 80

所在地 京都市伏見区

[きっかけ・課題]

⑨ 子育て世代に長い間 関わってもらうには、 どうしたらよいか

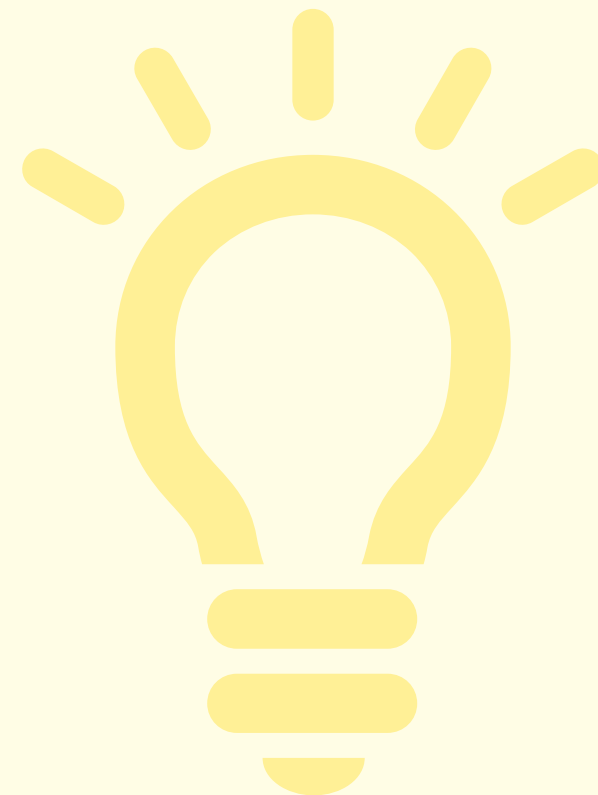


[そのとき考えたこと・話し合ったこと]

子どももお年寄りも楽しく暮らせるまちづくりを進めたいけれど、
そのためには、子育て世代に町内会活動に参加してもらいたい。
子どもに関することなら手伝ってもらえるだろうか。

[やったこと]

PTAの地域委員が 子ども会の役員に



取組

PTAの地域委員が子ども会の役員を担い、地蔵盆を盛り上げている。

工夫

地域活動に引き続き携わってもらえるよう、子ども会の役員を務めた翌年は、少年補導の役員を担ってもらっている。

結果

子育て世代が常に地域活動に関わるサイクルができた。また、子どもが楽しく行事に参加している様子を見て、新しい方の加入にもつながっている。

町内会加入世帯数 約 320

所在地 京都市西京区

[きっかけ・課題]

⑩ 毎年の活動が うまく引き継げない

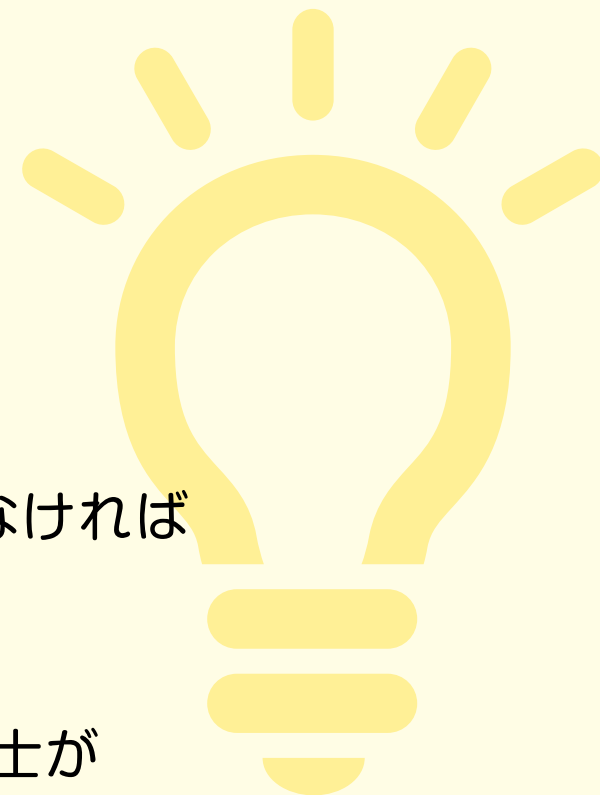
[そのとき考えたこと・話し合ったこと]

町内会長が毎年交代するため、
うまく活動を引き継ぐことができない。



[やったこと]

副会長が翌年の会長に



取組

町内会長は2月に立候補を募るが、立候補がなければ前年の副会長が会長となるよう取り決めた。

工夫

ほぼ立候補者がいないため、日頃から住民同士が顔を合わす機会をつくり、役員を気持ちよく引き受け合える人間関係を築いた。

結果

町内会活動が引き継ぎやすくなった。特に力を入れている防災面で、町内の細則を決めたり、毎年の避難訓練を改善しながら行っている。

町内会加入世帯数 約 60

所在地 京都市伏見区

[きっかけ・課題]

⑪ 会費の負担と高齢者の退会

[そのとき考えたこと・話し合ったこと]

マンションも含めた地域住民の高齢化が進み、
会費を負担に感じる高齢者の退会が多い。

[やったこと]

70歳以上の独居高齢者は 会費を半額に



取組 規約を変更し、70歳以上の独居高齢者は会費を半額とした。

工夫 総会の場で、町内会の大切さを丁寧に説明し、
会費の変更への理解を求めた。

結果 独居高齢者世帯の退会を食い止めることができた。一方で、
会費収入が減ると魅力ある活動ができなくなるという悩みや、
不公平感を覚えるという意見もある。

町内会加入世帯数 約 110

所在地 京都市右京区

[きっかけ・課題]

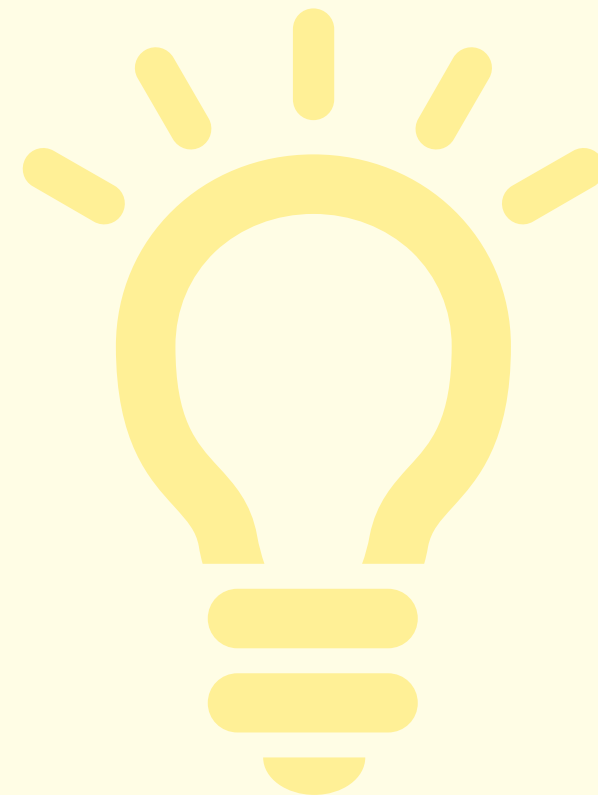
⑫ 会費が負担で町内会をやめたいという方がいる

[そのとき考えたこと・話し合ったこと]

高齢者世帯から会費が負担で退会したいという申し出があった。
いざという時のために、なんとかつながりを持っておけるようにしたい。

[やったこと]

会費の免除



取組

町内会にとどまってもらうため
高齢者世帯の会費の支払いを免除した。

工夫

災害時にも困らないよう、会費を免除し、
加入したままにしてもらって、回覧等は回せるようにしている。

結果

現在も全ての世帯が町内会に加入している。

町内会加入世帯数 約 90

所在地 京都市南区

[きっかけ・課題]

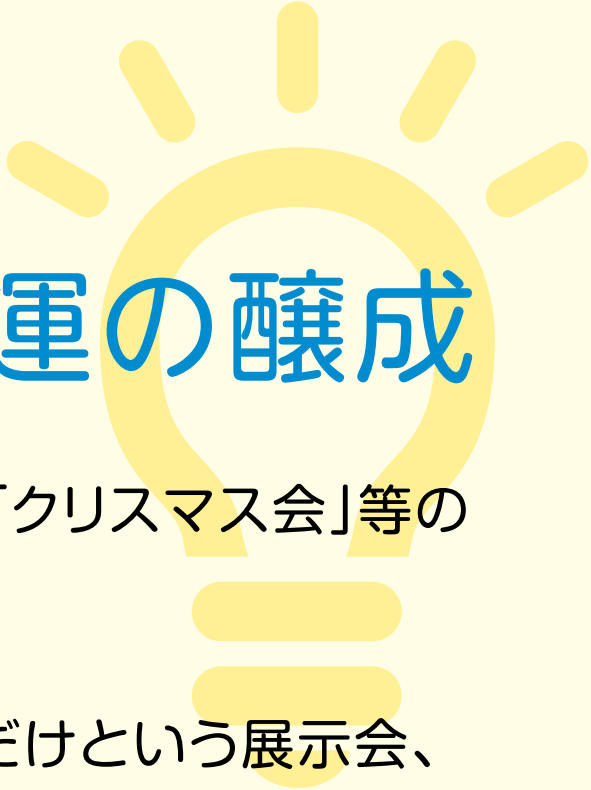
⑬ マンションに町内会がない

[そのとき考えたこと・話し合ったこと]

子どもがたくさんいるマンション。お互いに挨拶ができて、住民同士が気軽に交流できる住みよいマンションにしたい。

[やったこと]

親睦行事を通じて 町内会設立に向けた機運の醸成



取組

賛同者を増やすため、「防災訓練」、「七夕会」、「クリスマス会」等の親睦行事を実施した。

工夫

交流が苦手な人向けにも様々な催し（「見る」だけという展示会、短冊に「書く」だけという七夕会など）を用意するなど、少しずつでも交流していけるような取組も実施した。

結果

概ね10年かけて、マンション町内会が設立された。
みんなで楽しく運営することを心掛けているので、人間関係も良く、役員を自発的に担ってくれる人がいる。

町内会加入世帯数 約 30

所在地 京都市下京区

[きっかけ・課題]

⑭ 新築のマンション住民に 加入してもらいたい

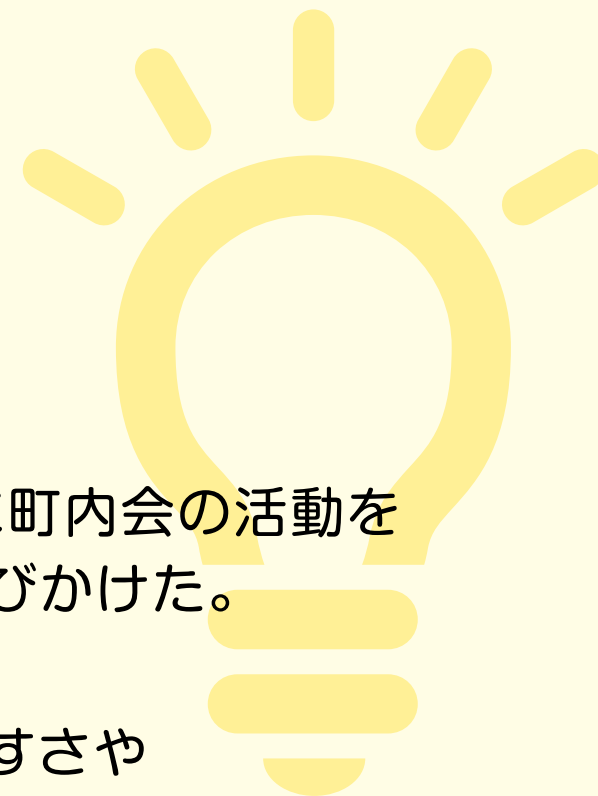
[そのとき考えたこと・話し合ったこと]

町内に新しく建つマンションの住民に、町内会に
加入してもらいたいけれども、どうやって関係を作っていこうか。



[やったこと]

マンション住民の加入



取組

マンションへの入居が始まった頃から、住民に町内会の活動を紹介するなど、町内会への加入を積極的に呼びかけた。

工夫

マンション住民との顔の見える関係の作りやすさや何かあった時の頼りやすさを考え、近くに住む人が役員を担うようにした。

結果

マンション住民が自然と地域に溶け込むことができ、住民が町内会に加入した。現在は、マンションで一つの隣組を編成している。

町内会加入世帯数 約 30

所在地 京都市下京区

[きっかけ・課題]

⑮ 同じ町内でも 付き合いが少ない

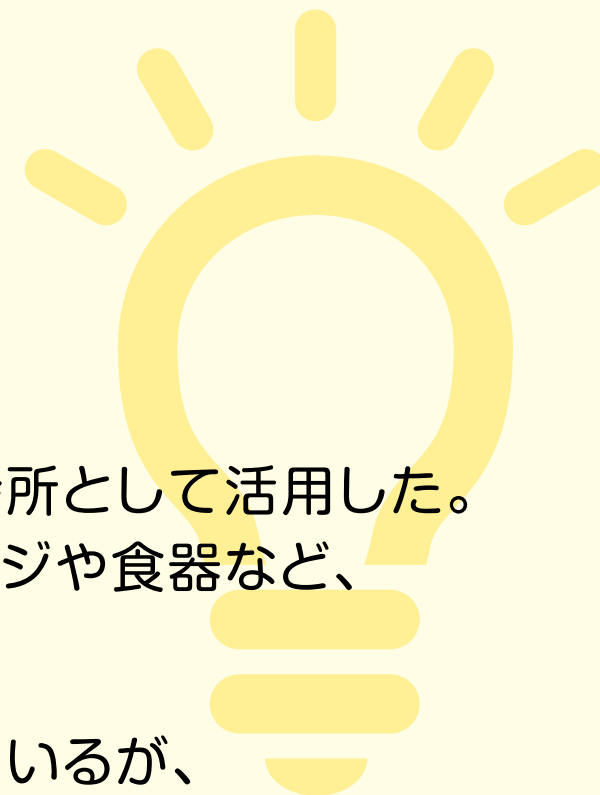


[そのとき考えたこと・話し合ったこと]

住民同士がつながる楽しさをもっと知ってほしいと
思っていたところ、町内の方から「空きスペースを
地域の親睦スペースとして使ってもらえたら」と提案があった。

[やったこと]

空きスペースを 住民交流の場に活用



取組

空きスペースを住民が気軽に利用できる集会所として活用した。集会所を作るにあたっては、棚や机、電子レンジや食器など、町内の方の寄付で持ち寄った。

工夫

集会所でのイベントの案内は回覧板で回しているが、参加しにくい方もいると思い、個別に声をかけるなどして誘い合っている。

結果

定期的に集まる機会を設け、日常的に顔を合わさない人とも顔の見える関係が築けるきっかけとなった。

町内会加入世帯数 約 80

所在地 京都市左京区

[きっかけ・課題]

①6 独居高齢者の 孤立化を防ぎたい

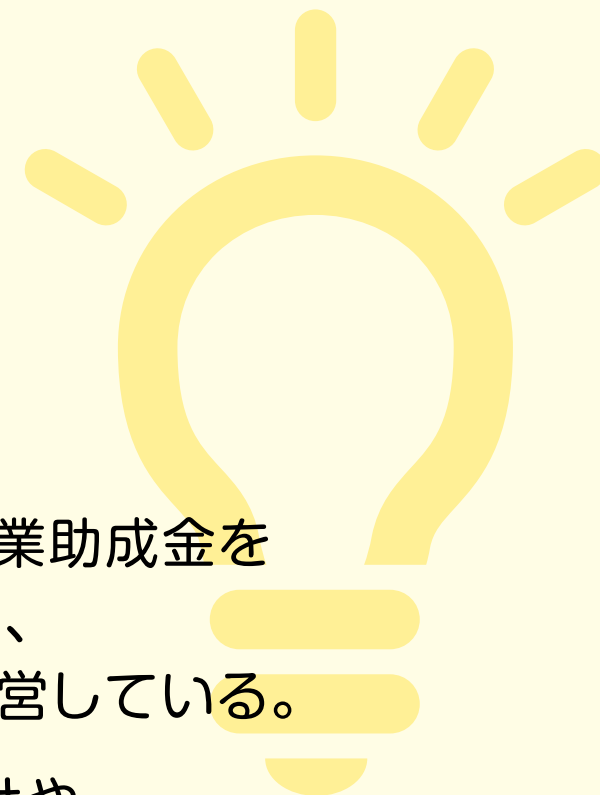
[そのとき考えたこと・話し合ったこと]

マンション内に独居高齢者が増えてきており、
地域に顔を出さない方も一定数いる。
このまま孤立してしまわないか不安である。



[やったこと]

マンションの集会所で 居場所づくり



取組

マンション自治会が主体となって京都市の地域コミュニティ活性化に向けた地域活動事業助成金を活用し、居場所づくりカフェを始めた。現在は、マンション管理組合からの資金と参加費で運営している。

工夫

民生委員や老人福祉委員が参加者の呼びかけや運営サポートを行い、継続的な参加につながっており、自治会役員も、安心してやりがいを持ちながら運営できている。

結果

独居高齢者等の居場所の1つになっている。また、カフェを通じて社会参加の機会が多くなったことにより、高齢者が自治会に関わり続けてくれている。

町内会加入世帯数 約 120

所在地 京都市山科区

[きっかけ・課題]

①⑦ 町内のつながりを深めたい

[そのとき考えたこと・話合ったこと]

区民運動会に町内のみんなで積極的に
取り組むのはどうだろうか。



[やったこと]

区民運動会に向けた熱心な取組



取組

区民運動会の事前練習や終わった後の慰労会など、みんなが集まって活動する機会づくりに取り組んだ。

工夫

長く地域で暮らしている方が、集まる際の段取りなどを行い、地域のつながりづくりを支えている。

結果

地域の一体感が高まり、地域のつながりが深まっている。新しく引っ越してこられた人には踏み込みづらいと思い、こまめに声掛けをしている。また、子どもが中学校に進めば町内会をやめるというパターンが多いので、この流れを防ぐ「魅力づくり」が必要である。

町内会加入世帯数 約 140

所在地 京都市右京区

[きっかけ・課題]

18

イベントをする場所が なくなった

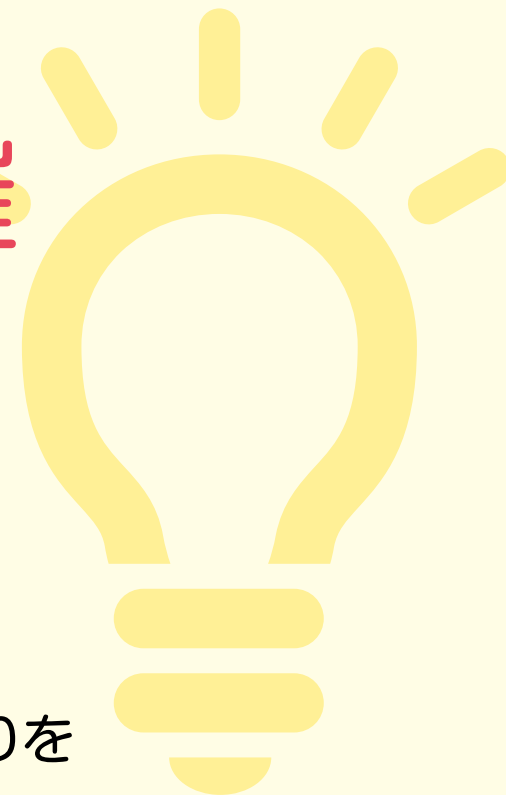


[そのとき考えたこと・話し合ったこと]

これまで個人宅のスペースを活用してイベントを実施していたが、別の場所を探すことが必要になった。みんなが楽しめるイベントを残していくために、どこか良い場所はないだろうか。

[やったこと]

近隣の大学の広場で開催



取組

近隣の大学に広場の使用許可をお願いし、イベントを続けることができるようになった。

工夫

歴代の町内会長が大学との間で丁寧に関係づくりをしてきた経緯があり、良好な関係を維持している。また大学関係者の参加も歓迎し、交流の機会と捉えている。

結果

周辺には賃貸マンション等も増えている中、大学で開催できたことにより、今まで以上に来場者が多くなり、新しく引っ越してこられた方との交流もできるようになった。

町内会加入世帯数 約 250

所在地 京都市右京区

[きっかけ・課題]

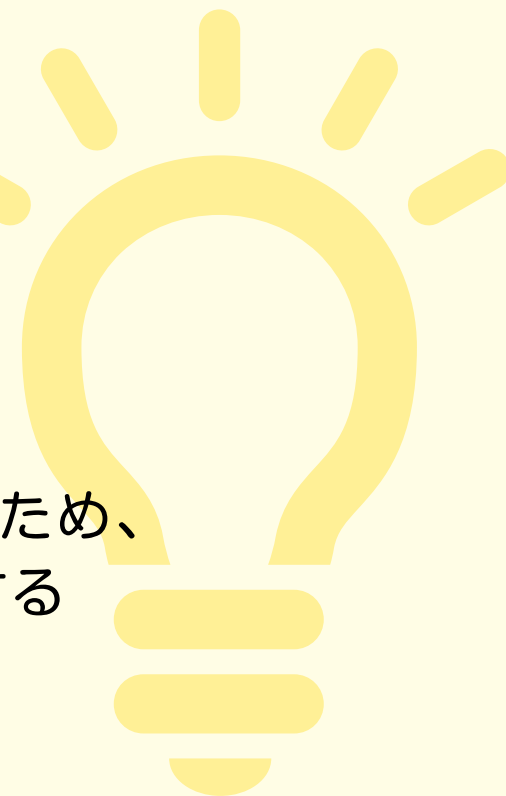
①9 地蔵盆をしても、 なかなか交流が生まれない

[そのとき考えたこと・話し合ったこと]

毎年地蔵盆を開催しているが、縁日等のイベントを楽しむ子どもたちと、お参りをする高齢者との交流があまりないようで寂しい。

[やったこと]

スタンプラリーの導入で 交流を促進



取組

イベント会場とお地蔵さんの場所が離れているため、スタンプラリーを導入し、子どもたちが行き来する仕組みを作った。

工夫

お参りをする高齢者にもスタンプ押しや道中の見守り役に協力していただいた。

結果

子どもたちと高齢者の交流が生まれるようになった。

町内会加入世帯数 約 150

所在地 京都市北区

[きっかけ・課題]

②① マンションなので 地蔵盆がない

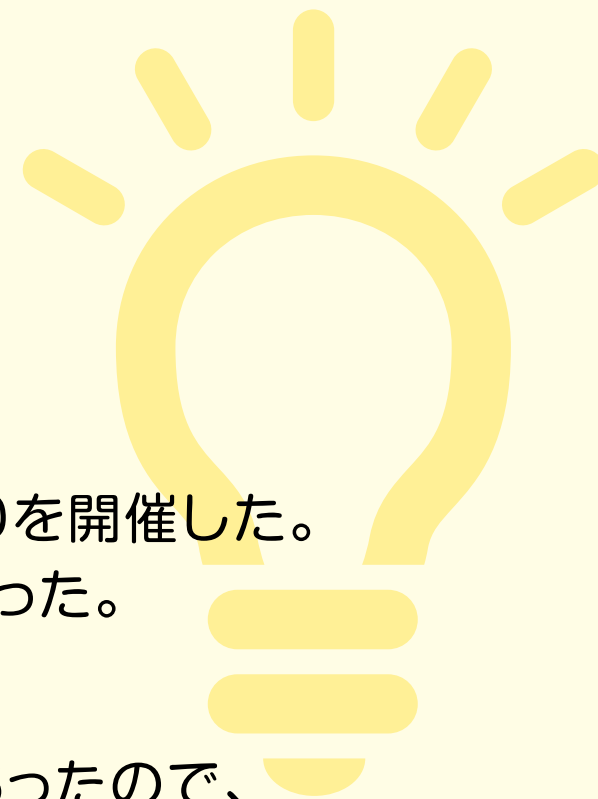
[そのとき考えたこと・話し合ったこと]

以前住んでいた町では、地蔵盆を通して
近所の方と交流していた。地蔵盆があれば
マンション住民で交流する機会が増えるのに。



[やったこと]

地蔵盆の代わりに、 夏祭りを開催



取組

マンション管理組合から予算を捻出し、夏祭りを開催した。
マンション自治会役員が準備や運営などを担った。

工夫

自治会だけでは祭りの運営ができない年があったので、
実行委員会を作り、有志での運営を試みた。

結果

自治会員に協力を呼びかけたところ、役員以外の住民も
委員として参加してくれるようになった。

町内会加入世帯数 約 30

所在地 京都市伏見区

[きっかけ・課題]

②① 情報共有がしにくい

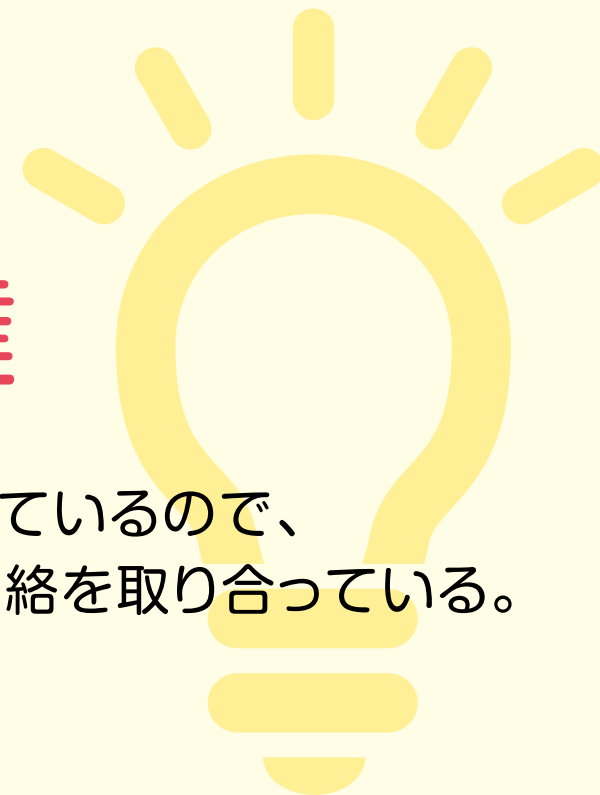


[そのとき考えたこと・話し合ったこと]

組長をやっているが、回覧板が回りきるのに時間がかかるし、緊急時の情報伝達がどうしても遅れる。

[やったこと]

SNSを活用した 連絡網づくり・情報伝達



取組

組の全世帯(12世帯)がスマートフォンを使っているので、この組ではLINEを使って連絡網を作成し、連絡を取り合っている。

工夫

回覧板も回しているが、緊急の連絡はLINEを使っている。

結果

必要な情報を瞬時に共有できるようになった。
夫婦でLINEに参加する人もいて、情報共有がしやすくなった。

町内会加入世帯数 約 70

所在地 京都市北区

[きっかけ・課題]

②② 住民同士のつながりを 深めたい

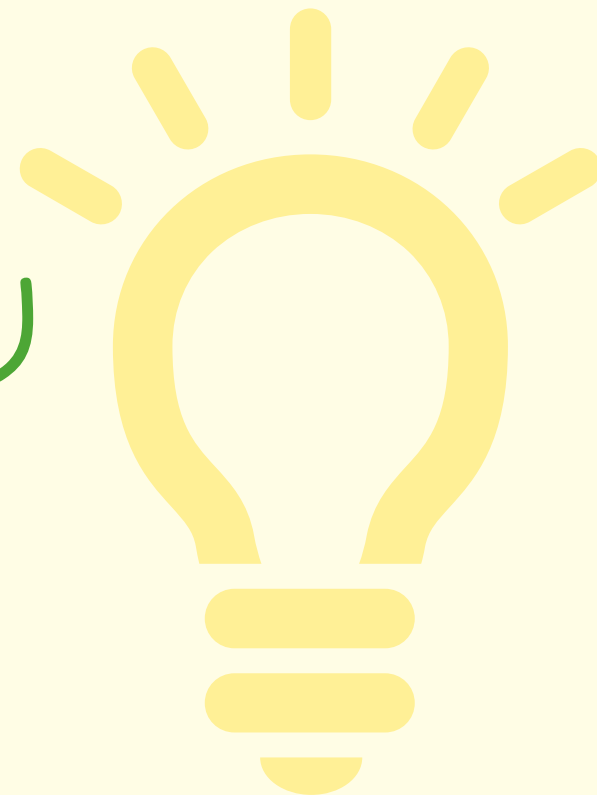
[そのとき考えたこと・話し合ったこと]

新築後、間もなく結成されたマンション自治会で、
住民間のつながりが希薄。
相互理解や助け合いができる関係を作っていきたい。



[やったこと]

NPO法人と連携した 住民間のつながりづくり



取組

地元で活動するNPO法人と連携して「本を通じた交流の場」づくりを企画し、マンション内に図書コーナーを設けた。

工夫

より多くの住民に参加してもらえるよう、NPO法人による演劇など、気軽に楽しめる催しを実施した。

結果

住民同士のつながりが深まったことで、自治会による秋祭りも行われるようになった。マンション住民の入れ替わりがある中、現在も図書コーナーの運営を行っている。

町内会加入世帯数 約 70

所在地 京都市右京区

区役所・支所

地域コミュニティサポートセンター

075-222-3098

京都の自治会・町内会は、世帯数や成り立ちなどによって状況が異なるため困りごとも様々です。

私たちは、それぞれの地域の個性を大切にし、
自治の精神をはぐくめるよう、取り組み方を一緒に考えていきます。

より詳しい情報を知りたい方は当センターにご連絡ください。

また、自治会・町内会の取組事例がありましたら
情報提供いただけると幸いです。よろしくお願いたします。



発行：地域コミュニティサポートセンター
（京都市文化市民局地域自治推進室）

取材：京都市まちづくりアドバイザー

令和2年3月発行 京都市印刷物第313272号